⑷　Basic requirements of the procurement :
　①　Endoscopic Surgical System 1 set
　②　Surgical Operation System 1 set
　③　Surgical Operation support System 1 set
⑸　Time limit for the submission of the requested material : 17 : 00　7 May, 2026
⑹　Contact point for the notice : YOSHIDA Takeshi, Consumables Procurement Section, Procurement Division, Finance Department, Kyushu University, 744 Motooka Nishi-ku Fukuoka-shi 819―0395 Japan, TEL 092―802―2366
E-Mail : zaksyomo@jimu.kyushu-u.ac.jp

資料提供招請に関する公表

次のとおり物品の導入を予定していますので、当該導入に関して資料等の提供を招請します。
令和８年３月16日
国立大学法人九州大学総長　石橋　達朗
◎調達機関番号　415　◎所在地番号　40
○第10号
１　調達内容
⑴　品目分類番号　22、31
⑵　導入計画物品及び数量
放射線画像診断システム　一式
⑶　調達方法　購入等
⑷　導入予定時期　令和８年度３月以降
⑸　調達に必要とされる基本的な要求要件
　①　全身用Ｘ線ＣＴ診断システム　１式
　②　血管造影診断システム　１式
２　資料及びコメントの提供方法　上記１⑵の物品に関する一般的な参考資料及び同⑸の要求要件等に関するコメント並びに提供可能なライブラリーに関する資料等の提供を招請する。
⑴　資料等の提供期限　令和８年５月７日17時00分（郵送の場合は必着のこと。）
⑵　提供先　〒819―0395 福岡市西区元岡744
国立大学法人九州大学財務部調達課消耗品調達係　吉田　武志　電話092―802―2366
E-Mail：zaksyomo@jimu.kyushu-u.ac.jp
３　説明書の交付　本公表に基づき応募する供給者に対して導入説明書を交付する。
⑴　交付期間　令和８年３月16日から令和８年５月７日まで。
⑵　交付場所　電子媒体にて交付するため、交付を希望する者は上記２⑵に記載のメールアドレスに連絡すること。
４　その他　この導入計画の詳細は導入説明書による。なお、本公表内容は予定であり、変更することがあり得る。
５　Summary
⑴　Classification of the products to be procured : 22, 31
⑵　Nature and quantity of the products to be purchased : Radiology Imaging System 1 Set
⑶　Type of the procurement : Purchase
⑷　Basic requirements of the procurement :
　①　Whole body X ray CT imaging system 1 set
　②　X-ray Angiography System 1 set
⑸　Time limit for the submission of the requested material : 17 : 00　7 May, 2026
⑹　Contact point for the notice : YOSHIDA Takeshi, Consumables Procurement Section, Procurement Division, Finance Department, Kyushu University, 744 Motooka Nishi-ku Fukuoka-shi 819―0395 Japan, TEL 092―802―2366
E-Mail : zaksyomo@jimu.kyushu-u.ac.jp

資料提供招請に関する公表

次のとおり物品の導入を予定していますので、当該導入に関して資料等の提供を招請します。
令和８年３月16日
国立大学法人長崎大学長　永安　　武
◎調達機関番号　415　◎所在地番号　42
○第８号
１　調達内容
⑴　品目分類番号　14
⑵　導入計画物品及び数量　総合病院情報システム　一式
⑶　調達方法　借入
⑷　導入予定時期　令和10年度５月以降
⑸　調達に必要とされる基本的な要求要件
Ａ　新システムは、以下の各種機能を有し、長崎大学病院における診療業務等を総合的に支援すること。
ａ　電子カルテシステム
ｂ　オーダリングシステム：処方、検査、予約、病名等
ｃ　連携サブシステム：検査、放射線、調剤、医事会計、経営管理等
ｄ　外部ネットワークとの接続機能
Ｂ　新システムは、各種の医療関連法令・ガイドライン等に準拠していること。
Ｃ　新システムは、電子カルテの３原則（真正性、見読性、保存性）が確保されていること。
Ｄ　新システムは、各業務全般にわたり病院業務を円滑かつ統合的に管理運用が行えること。
Ｅ　新システムにおける各種オーダは、安全・精度管理に必要となる、実施日、実施者、実施場所等の属性を保持した実施入力に基づく運用を前提とし、時系列に沿った一覧機能を有するとともにオーダ内容の変更履歴を備えていること。
Ｆ　新システムは、診療現場での利用に耐えうる、充分な操作性と応答速度を有すること。
Ｇ　新システムは、操作性が統一され、操作が煩雑でないユーザインタフェースを提供すること。
Ｈ　新システムは、冗長化構成等により、システム障害時あるいはシステムメンテナンス時においても、基本的には24時間365日ノンストップシステムとして、自動運転が行える仕組みであること。ただし、病院の定めによりサーバ再起動を実施する際はこの限りではない。
Ｉ　新システムのサーバ構築時には、コンピュータリソースの高効率化、省エネ化、設置スペースの縮小、配線の簡素化等に対応できること。
Ｊ　新システムは診療情報の安全性確保のため、利用端末に可能な限り、情報を保持しない等の充分なセキュリティ機能を有し、かつ、コンピュータウイルス感染、外部からの攻撃と情報漏洩への対策を最先端の技術をもって行っていること。
Ｋ　新システムは、ＢＣＰ（Business Continuity Plan）およびＤＲ（Disaster Recovery）に関して充分配慮され、遠隔地バックアップ等に対応可能な環境を提供できること。
Ｌ　新システムが保有する全てのデータは、機密性、完全性、可用性が確保されていること。
Ｍ　新システムは適切な保守管理体制を有し、システムメンテナンス時あるいは障害時における対策がなされていること。特に本院の通常業務時間帯においては、相応の知識・技術を有するヘルプデスク要員がオンコールでリモート対応等が可能である体制であること。
Ｎ　新システムは、各種のモニタリング機能、ログ情報分析機能等により、現況分析、運用改善、障害対応等に利用可能なデータを提供できること。また、障害の自動通報、自己診断等により、障害発生時の迅速な対応と、その発生原因の究明に資することができる環境を有すること。
Ｏ　新システムは、病院運営管理機能として、システム保守管理、ユーザ管理、アクセス権限及び履歴管理、人事管理、物流管理、病床管理のほか医療従事者間のメッセージング機能を有すること。
Ｐ　新システムは、医科系データと歯科系データを統合し、その両者を有する患者であっても、シームレスにシステム上で処理・管理を行えること。
Ｑ　新システムは、二要素認証により利用者を確実に識別できること。また、アクセスログ等により、その利用の正当性について、随時検証が可能であること。
Ｒ　新システムは、全体として診療録の開示やリスク要因の解析、外部評価等に耐えうる粒度を備えたデータの蓄積・抽出・再利用を前提とした構成をとり、電子診療録としての機能を有すること。
Ｓ　本調達に含まれる連携サブシステムあるいは本院既存の各部門システムとの間は、相互に連携してデータの有効利用を図り、冗長な入力を避けること。また新システムと各部門システムの併用が必要な部署では、同一端末上に表示し、業務効率の良い画面連携を実現すること。
Ｔ　新システムは、現システムと接続して運用している各部門システムおよび医療機器と接続して利用できること。加えて、新システムと各部門システムとの間でデータ通信の必要性が生じた場合には、これを実現するために必要となる情報を提供すること。
Ｕ　新システムは、基幹系システムと連携サブシステムおよび各部門システムとの間において職員マスタコードを相互利用し、シングルサインオン環境を提供すること。